

ファミリー・サポート・センター講演会



子どもへの愛情から生まれた楽器、 ヘルマンハープの演奏とおはなし

ヘルマンハープという楽器をご存知ですか？
ダウン症のお子さんに、「メロディーを自分で演奏することのできる楽器を与えてあげたい」という父親の愛情から開発された楽器です。
その澄んだ音色を聞きながら、改めて大人からの「子どもへの愛情」について思いをはせてみませんか・・・



■講師プロフィール■
梶原 千沙都氏
(日本ヘルマンハープ
振興会会長)

ヨーロッパで日本人として初めてヘルマンハープと出会い、ヘルマンハープ開発者より日本でのヘルマンハープ普及を一任される。その後、日本ヘルマンハープ振興会を設立し、福祉と音楽をつなぐヘルマンハープでの新しい日独友好の文化交流、そして生涯教育活動を全国で進めている。

日時：6月6日(木) 午前10時～正午
場所：区民センター2階 2-A会議室
定員：70名
締切：6月5日(水)
申込・問合せ：裏面下記へ

※保育は有りませんが、お子様連れでのご参加も可能です。参加者にお子さんがある場合は、その人数と年齢をお願いします。

提供会員、依頼会員双方で お子さんの様子を共有しましょう

サポート中のお子さんのことで困ったことがあっても、一人で悩んでいらっしゃる提供会員さんが少なくないようです。小さかった困りごとが、回を重ねていくごとに大きくなり、ひいてはサポート関係の解消につながることもあります。

まずは、**どのような事実があるかを提供会員、依頼会員双方が把握していることが大切**です。

お子さんに「手をつなぐのを嫌がり振り払った」、「急に走り出した」、「乱暴な言葉をつかった」などサポートに支障をきたす様子があれば、提供会員さんは、メールや活動報告書の「連絡事項欄」や裏面の「その他追記事項」に書くなど**情報共有して、依頼会員さんにも一緒に対策をしてもらえ環境をつくりましょう**。対応の仕方に迷ったときはアドバイザーにご相談ください。

また、依頼会員さんには、**日常とサポート時ではお子さんの様子が同じではないこともある**ということを、念頭におき、メールや活動報告書の内容を確認してください。依頼・提供両会員が、**叱るのではなく根気よくお子さんにくり返し伝える**ことで危険な行動がなくなったというケースもありました。円滑なサポートのためには両会員の連携が欠かせません。ご協力をお願いします。



新しいアドバイザーが 着任しました！

駒込地区を担当していた乙黒の退職を受け山村が、大塚地区の小幡の業務変更に伴い網谷が新たに着任いたしました。

～新任～

山村（駒込地区）

「会員のみなさまに教えて頂きながら、お子さんが安心して過ごせるようお手伝いできたらと思っています。」

網谷（大塚地区）

「優しい先輩アドバイザーの方々にはバシ指導して頂いています。宜しくお願いします。」

～退職～

乙黒（駒込地区）

「会員のみなさまの文京区で子育てをしたい、子育て支援をしたいという気持ちに触れた2年間でした。お世話になりました。ありがとうございます。」



※富坂・本富士はアドバイザーの変更はありません。

提供会員のみなさんへ



救急救命講習更新のお願い

救急救命講習の有効期限は受講日より3年間です。対象の方にはアドバイザーより再受講のご案内をしていますが、**ご自身でも「救命技能認定証」の認定日を確認してください。**

よろしくお願ひいたします。



スタンダードサポーター認定研修

今年度第1回目のスタンダードサポーター認定研修が9月から10月にかけての計4日間の日程で予定されています。この研修の修了で**依頼会員宅での預かりに対応できるようになるほか、全国共通の子育て支援員「基本研修修了証書」が交付されます。**受講頂けると提供会員の少ないエリアの依頼会員さんが助かります。ご検討いただける方には、詳細が確定次第要項をお送りしますので、お問い合わせください。

依頼会員のみなさんへ



センターからのお願い

新年度に伴い、初めてサポートを受けている方もいらっしゃるため、改めて依頼会員さんに以下についてご協力をお願いいたします。

①毎月サポートを受ける方は、依頼した日時
の連絡を前月の25日を目安にセンターに必ずご連絡ください。特に依頼日の前日当日などの直前の連絡ですと、提供会員さんに確認が取れない場合があります。

②依頼内容に変更がある場合、必ずセンターに連絡をください。時間・曜日の変更だけでなく、送迎場所の変更には、事前打合せの再実施が必要な場合もあり、未実施の場合は保険対象のサポートとならないことがあります。

③活動報告書はサポート翌月の3日までに提供会員さんに渡してください。



第1回ステップアップ研修 「ネウボラってなに？」

ネウボラはフィンランド語で「アドバイスの場」という意味の言葉で、文京区では文京区版ネウボラ事業として、妊娠期からの切れ目のない様々な子育て支援を展開しています。そのキーパーソンとなる保健師さんに、その概要や子育て世代をとりまく環境についてお話して頂きます。お申込みの締切など詳細は後日はがきにて、ご案内します。

日時：7月17日(水) 午前10時～正午

場所：区民センター 2-A会議室

講師：文京区保健サービスセンター保健師

～今後の研修開催予定～

第2回 『サポートにおけるリスクマネジメント』

10月25日(金) 午後2時～4時

第3回 『ほぐしヨガ(仮)』

令和2年2月13日(木) 午前10時～正午

※ステップアップ研修は提供会員のみなさんに、サポートに役立つ知識を得ていただくために、実施している研修です。お忙しいとは存じますが、ご都合をつけて出席して下さるようご協力をお願いします。



熱中症対策を忘れずに！

5月に入り、日差しが既に強くなってきています。これから夏に向け本格的な暑さが到来します。送迎サポートを受けているお子さんには、水分補給用の水筒を持たせるなどのご配慮をお願いいたします。提供会員さんに立替払いで飲料等を購入していただくことが考えられる場合は、事前にお伝えしておきましょう。



センターにもキャンセル連絡を！

サポートをキャンセルされる場合は、提供会員さんに早めに連絡していただくのはもちろんですが、センターにもその旨の連絡をお願いいたします。センターが開いていない時間帯でしたら、担当アドバイザーにメールでご連絡頂けると助かります。



ファミリー・サポート通信に対するご意見をお寄せください。

お寄せ頂いた方にはきく文グッズを差し上げます。

ご意見は、文京区社会福祉協議会HP
お問い合わせフォームよりお寄せください。

<https://www.bunsyakyo.or.jp/contactus/>
(右のQRコードからも行けます)

ホームページはスマートフォンにも対応しています
皆さまのご意見をお待ちしています！



文京区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「きく文(もん)」

問合せ

文京区ファミリー・サポート・センター

〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14

区民センター4階

文京区社会福祉協議会 ささえあいサポート係

ホームページ <http://www.bunsyakyo.or.jp>

電話 03-3812-3043